

■ 第 4 回 芦屋市住生活基本計画策定委員会の振り返りと主な意見等

議事 1 第 3 回委員会の振り返り

【概要】

第 3 回委員会の振り返りについて説明しました。

議事 2 住生活基本計画（素案）

【概要】

住生活基本計画（素案）について説明し、ご意見をいただきました。

【主な意見】

主な意見
・ P28 の基本目標に、公共交通を補完する施策の検討という文言を入れたこと、P57 に目標値を数値化したことが非常に良い。ただ、ニュータウンの再生に向けた意見交換会の目標が年に 1 回というのは、10 年後の目標としてややペースが遅い気がする。 ・ 前回の会議で第 5 章の重点施策と第 4 章の施策展開の対応関係をわかり易くした方が良いという意見があったが、課題認識と基本目標、基本方針との関係についても、関連図のようなもので全体の構成を示した方が分かりやすいと思う。 ・ 多様な世代のミックスした地域づくりは、自治会の活性化に不可欠である。地域の活性化にむけた方針を記載していただければ、自分たちの地域を育てていこうという意識も芽生えてくると思う。
・ 成果指標に関して、1 つ目の若者世帯の転入人口については、目標値の達成に向けて様々な施策を展開していくことになると思うので、成果の指標として良いと思う。一方で、4 つ目の意見交換会の回数や 8 つ目のセミナー参加人数は、動員をかけるなど、数値目標を達成することが目的となってしまうか気がかりである。成果指標として挙げるのであれば、総合計画の市民アンケートでの数値や回答の比較といった、市民の評価や意識に基づいた指標の方が適当ではないかと思う。特定空家の指標は 10 年後も 0 件と設定されており、シンボリックな目標として良いと思う。
・ P18 の基本方針 3 では「多様な選択が可能な住まいづくりの推進」とあるが、すぐ下の取組みの方向性の部分で「情報提供に努めます」とあり、タイトルと記載内容があまり対応していない。具体的な取組内容が情報提供であったとしても、タイトルに合わせて「〇〇の環境の実現を促進します」といった表現の方がよい。基本方針 4 の取組の方向性の文章では、「利活用を促進します」という表現をしているので、文言の統一という点でも検討していただきたい。 ・ P21 の基本方針 6 の取組みの方向性の文章では「マンションの管理適正化に取り組めます」という表現をしているが、市が行うことは、さまざまな支援を通して管理の適正化を促すことだと思うので、取組の主語が誰になるのかという点を整理した上で表現を改めた方が良いと思う。 ・ P22 の取組の方向性で、「美しい景観形成等のために無電柱化を推進します」とあるが、具体的な取組内容の文章にも無電柱化に関する表現がなく、唐突な印象を受ける。もし今後計画的に無電柱化を進めていく方針であれば、具体的な取組内容でも触れた方が良いのではないかと思う。 ・ P24 のエリアマネジメントについての具体的な取組内容の記載について、「取組を進めています」という表現をしており、経過の報告のようにも見えるので、未来に向けての取組を記載していただければと思う。